

100年
カンパニー
の知恵。

NTN (大阪市)

since 1918

中

と々々主義第一品質

航空機をはじめ、産業機械用の大型ベアリングで優位を築いてきたNTN。その高い技術力ゆえに第二次世界大戦中は軍需で生産が強化されたが、主力の桑名工場（三重県）が爆撃されるなど、大きな被害を受けた。戦後は、経済の復興・自立を目指す政府が増産を促進。自動車などの基幹産業を支え、高度経済成長をけん引する「潤滑剤」となった。

特に当時の経営陣らは直接の生産設備を整備しつつも、品質保証の基盤となる部門に多額の資金を投入。その結果、統計的品質管理が専門の米国のデミング博士にちなみ日本科学技術連盟が創設したデミング賞を、1954年に受賞した。日本の機械工業界初で、創業時からの「品質第一主義」が誇りとなった。60年には日本初のオートメーション工

滑らかな
社会の実現に
向けて

場として磐田製作所（静岡県）が操業開始。世界でも4番目だった。その後、貿易・為替の自由化もあり、輸出は一気に拡大した。

さらに、現地の需要に柔軟に対応できるように、61年には初の海外販売会社をドイツに設立。71年には日本ベアリング業界初となる現地生産会社を米国に設立するなど、次々と海外に進出。今では世界33カ国に約220の拠点がおり、従業員約2万4000人を数える。

商品開発にも積極的に取り組み、現在、自動車分野では、タイヤの回転を支える「ハブベアリング」で世界1位、エンジンの動力をタイヤに伝える「ドライブシャフト」で世界2位。国内メーカーで唯一、航空宇宙分野でも専門工場を持つ。それ以外にも14万種を超える商品を製造し、ガソリン車1台でも100〜150個のベアリングを使用。「ベアリング百貨店」とい



1955年、受賞を祝い、当時の社長らと懇談するデミング博士（左）NTN提供 【大道寺峰子】